課　　長	係　　長	検　　算	設　　計

事業年度	令和　3　　年度
事業種別	
工事番号	資公工 － 3

工事名　令和３年度久々利汚水幹線管渠布設工事

可児市　水道部　下水道課

件　　名	令和３年度久々利汚水幹線管渠布設工事		
施工場所	可児市　久々利　地内		
金　　額	円	内消費税相当額	円

理　　由

本工事箇所は、木曽川右岸流域関連可児市公共下水道事業に伴う事業認可区域内のため、管渠布設工事を行う。

概　　要

下水道管渠布設工　RPφ200　　L=419.4m

１号マンホール設置工　　N=7 基

特　記　仕　様　書

１．一般事項
（１）受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。
（２）受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。
（３）提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、所定の様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

２．建設副産物有効利用及び適正処理について
（１）受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。
（２）建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が 100m3 未満の場合はこの限りではない。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。

３．使用材料
（１）生コンクリートについて
本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート（24N/㎟以上）については 55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート（21N/㎟以下）については 60%以下、均しコンクリートについては 60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。
（２）無収縮モルタルについて
無収縮モルタルについては空袋管理を行うこと。

４．工事施工について（一般）
（１）受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。
（２）工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。

５．工事施工について（下水道）
（１）掘削延長は、原則として、当日中に管布設及び埋戻しが完了する範囲とする。構造物基礎コンクリート打設により当日中に埋戻しができない場合には、適当な表示を行うなどして通行人などの危険防止に努めなければならない。
（２）アスファルト舗装等の取壊しは、アスファルトカッター等を用い、切口が粗雑にならないようにしなければならない。
（３）過掘りになった部分については、良質土で埋戻しを行い、60～100kg 級タンパ又は同等以上の締固め機械で十分締固め、管等の沈下がないようにしなければならない。
（４）床付面に予期しない不良土質が現れた場合には、監督員に報告しその指示に従わなければならない。
（５）砕石埋戻しは、管両側同時かつ均等に埋戻し入念に締固めを行い、管の沈下及び移動が生じないように施工しなければならない。
（６）埋戻しは、一層の仕上り厚さを 20cm 以下とし、各層ごとにタンパ（60～100kg）又は同等以上の締固め機械で締固めなければならない。
（７）路床部の埋戻し材は、現場発生土の有効利用を原則とするが、発生土の使用にあたっては CBR 等により、監督員と協議を行い、決める。
（８）仮復旧は毎日、管布設及び埋戻しが完了した範囲を行うものとする。
（９）交通量が少なく路盤での開放が可能な箇所は、監督員と協議をし、一週間以内に仮舗装を行うこと。また、本復旧までに不陸や破損が発生したときは、速やかに補修をすること。
（１０）一週間に一度仮復旧した箇所を監督員が検査を行い、車両走行に対して危険性があると判断されたときは、速やかに仮舗装をめくり取り、再施工とすること。
（１１）マンホール間（１スパン）の最初の配管は起点になる部分であるため、接合する管の芯出し、位置決めは特に正確に行うものとする。
（１２）管は原則として順次上流側に向けて接合しなければならない。
（１３）管の接合に当たっては、特に水密性が得られるように入念に施工しなければならない。
（１４）マンホール蓋のすりつけは、監督員と十分に検討し、雨水の流入がないように設置すること。
（１５）インバート表面及び曲線部は、汚水が円滑に流れるように連絡管の管径及び管底に合わせて滑らかに仕上げなければならない。
（１６）マンホール内のコンクリート打設、インバート部の施工及び管接合部の施工等に当たっては、特に水密性が得られるように入念に施工しなければならない。

（１７）マンホールの天端高について、将来舗装の本復旧を考慮した場合、明らかに天端高を変更した方が良いと考えられるときは、監督員に必ず報告を行い、書面をもって協議すること。
（１８）工事終了後、管内を洗管し、管内がきれいな状態で検査を受けること。供用開始前に管内の点検及び清掃を行い、補修が必要な場合は、速やかに対応すること。
（１９）人孔の中心座標データ（人孔 No・X 座標・Y 座標・Z 座標）を世界測地系（日本測地系 2000　7 系）で取得し、「xls・txt・csv ファイル」等にて作成し提出すること。
（２０）土留工の形状及び設置は、別途図書（標準図）を原則とするが開削部付近の環境、交通、地下埋設物等の条件によっては監督員の承認の上、変更することができる。
（２１）土留工の構造については、土質条件、荷重条件に基づく強度計算、施工方法等を検討の上、計算書、構造図を提出し、監督員の承認を得なけなければならない。
（２２）建て込み簡易土留工の採用に当たっては、十分に検討を行い、監督員に検討書及び承認願いを提出し承認を得なければならない。
（２３）舗装版切断工に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、関係機関等と協議の上、適正に処理をする。
「適正に処理」とは「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。
なお受注者は、排水処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。

６．工事保険について
本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

７．ワンデーレスポンスの取組について
（１）この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
（２）実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。
（３）受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。
（４）受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

８．電子納品について
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

９．暴力団等による不当介入における通報義務について
（１）受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成２２年可児市訓令甲第４７号）に定める様式第９号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
（２）受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

１０.現場代理人の兼務について
現場代理人は、工事請負契約約款第１０条第２項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。
1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて３件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が３，５００万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。
なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

１１.可児市公共基準点の保全について

工事施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋲を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう充分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。

１２．法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

特記仕様書
（条件明示）

施工条件

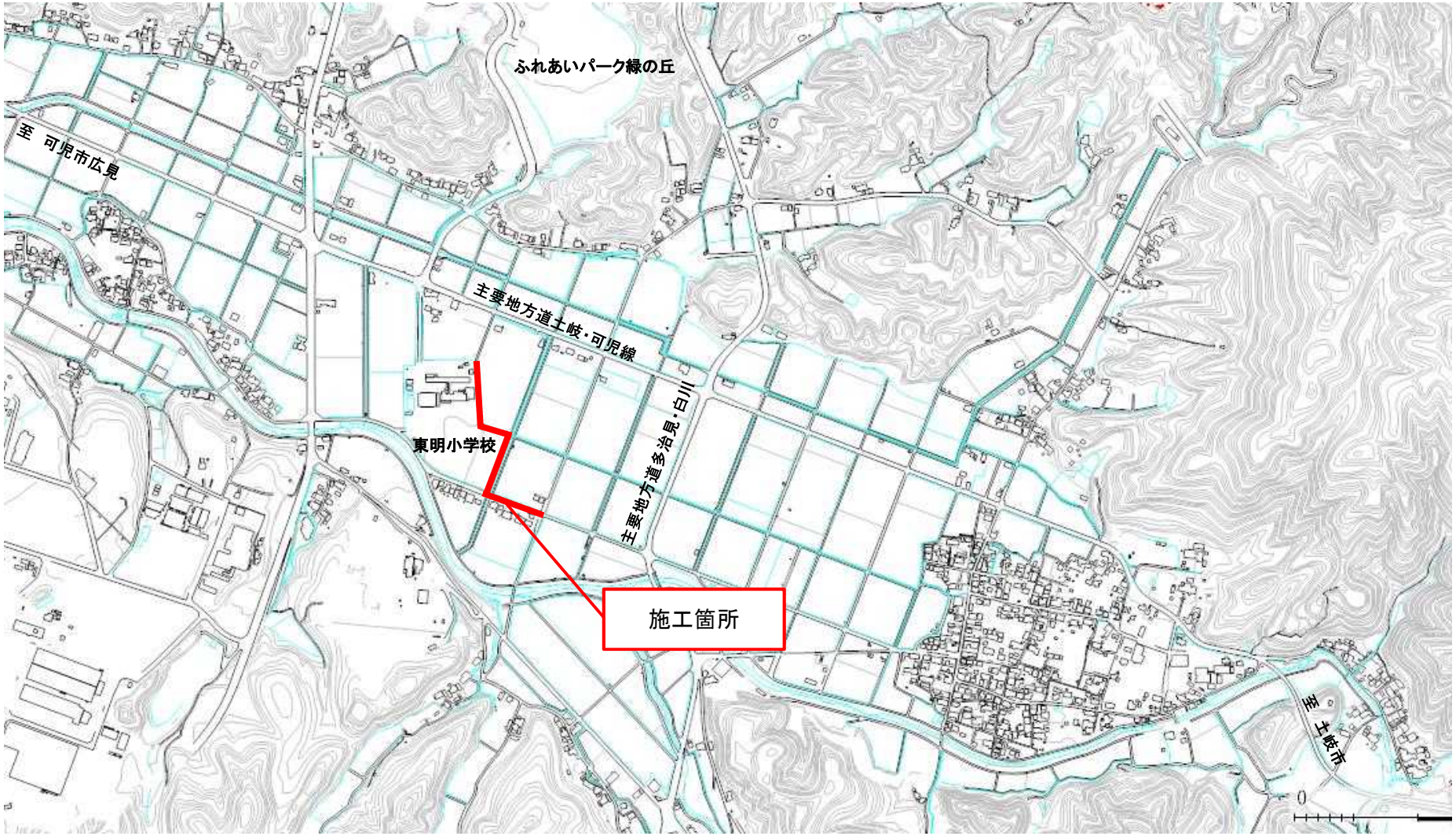
工事名　令和3年度久々利汚水幹線管渠布設工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

明示項目		明示事項		制約条件等
工　程	☐	1．関連する別途発注工事あり	☐	A．工種（　　）
			☐	B．期間（　　～　　）
	☐	2．他機関協議による工程条件あり	☐	A．工種（　　）
			☐	B．期間（　　～　　）
	☐	3．他機関との協議状況	☐	A．協議済機関及び内容（　　）
			☐	B．未協議機関及び内容（　　）
	☑	4．占用許可状況（　市道　）	☐	A．許可済
			☑	B．申請中
	☐	5．建築確認	☐	A．許可済
			☐	B．申請中
	☐	6．河川区域、保全区域内作業あり	☐	A．許可済
			☐	B．申請中
	☑	7．文化財協議（文化財課）	☐	A．協議済内容（　　）
			☑	B．未協議内容（　文化財エリア近接　）
	☑	8．施工時期	☑	A．施工時期（　近隣農作地関係者協議　）
	☐	9．その他	☐	A．その他（　　）
用　地	☐	1．用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐	A．区間(No.　　～No.　　)
			☐	B．着工見込時期（　　）
			☐	C．内容（　　）
	☐	2．工事用地の未買収	☐	A．場所（　　）
			☐	B．処理の見込み時期（　　）
			☐	C．未買収地への立ち入り可否（　　）
	☐	3．仮設ヤードの有無	☐	A．官有地
			☐	B．民有地
			☐	C．その他（　　）
			☐	D．別途協議
	☐	4．その他	☐	A．その他（　　）
公害対策	☐	1．施工方法の制限あり	☐	A．騒音（　　）
			☐	B．振動（　　）
			☐	C．水質（　　）
			☐	D．その他（　　）
	☐	2．事業損失防止に関する調査あり	☐	A．調査の項目（　　）
	☐	3．環境影響調査あり	☐	A．生物・植物調査あり
	☐	4．その他	☐	A．アスベスト含有材あり
			☐	B．フロン回収あり
			☐	C．その他（　　）
安全対策	☑	1．交通規制あり	☐	A．全面通行止め
			☑	B．片側通行止め
			☐	C．時間制限あり（　　）
	☑	2．通学路あり	☑	A．迂回路あり
			☐	B．仮設歩道必要
	☑	2．交通整理員	☑	A．区間(No.　施工区間　前後　) 配置人員　2　人/日
			☐	B．区間(No.　　～　　) 配置人員　　人/日
			☐	C．区間(No.　　～　　) 配置人員　　人/日
			☑	D．交替要員あり
	☐	3．鉄道等の近接作業制限あり	☐	A．工法制限あり（　　）
			☐	B．作業時間制限あり（　　）
	☐	4．バス路線（運行者との協議）	☐	A．協議済内容（　　）
			☐	B．未協議内容（　　）
	☐	5．その他	☐	A．その他（　　）
工事用道路	☐	1．一般道路（搬入路）の使用制限	☐	A．搬入経路指定あり
			☐	B．時間帯制限あり
	☐	2．仮設道路の設置条件あり	☐	A．一般交通供用あり
			☐	B．安全施設必要（　　）
			☐	C．路面工（　　）
			☐	D．工事完了後存続又は撤去（　　）
			☐	E．構造（　　）
			☐	F．用地（借地）
			☐	G．用地（公用地）
			☐	H．用地（その他）
	☐	3．その他	☐	A．その他（　　）
指定仮設備	☐	1．仮設物の指定又は一部指定あり	☐	A．工種（　　）
	☐	2．仮設構造物の転用、兼用あり	☐	A．工種（　　）
			☐	B．内容（　　）
	☐	3．その他	☐	A．その他（　　）

明示項目		明示事項		制約条件等
建設発生土 建設（産業）廃棄物 関係	☑	１．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［場所が未確定］	☑	Ａ．運搬距離（ 19.5 Ｋｍ）
			☐	Ｂ．投棄料計上あり
			☑	Ｃ．整地（押土、敷均、締固等）必要
			☐	Ｄ．整地（押土）必要
	☑	２．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［自工事へ流用］	☑	Ａ．盛土、埋戻
			☐	Ｂ．ストックヤード利用あり（ ）
			☐	Ｃ．仮置場必要（ ）
			☐	Ｄ．運搬距離（ Ｋｍ）
			☐	Ｅ．仮置場の用地借上費計上あり
	☐	３．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事へ流用、または処分地指定］	☐	Ａ．場所（ ）
			☐	Ｂ．盛土、埋戻
			☐	Ｃ．整地（押土、敷き均し、転圧）あり
			☐	Ｄ．ストックヤード利用あり（ ）
			☐	Ｅ．仮置場必要（ ）
			☐	Ｆ．運搬距離（ Ｋｍ）
			☐	Ｇ．仮置場の用地借上費計上あり
			☐	Ｈ．処分料計上あり
	☐	４．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事からの流用］	☐	Ａ．他工事名（ ）
			☐	Ｂ．請負者運搬あり（運搬距離 Ｋｍ）
			☐	Ｃ．盛土、埋め戻し
			☐	Ｄ．ストックヤード利用あり（ ）
			☐	Ｅ．仮置場必要（ ）
			☐	Ｆ．仮置場の用地借上費計上あり
	☐	５．産業廃棄物の処理条件あり ［特別管理産業廃棄物］	☐	Ａ．種類（ ）
			☐	Ｂ．場所（ ）
			☐	Ｃ．中間処理施設までの運搬距離（ Ｋｍ）
			☐	Ｄ．処理費計上あり
	☐	６．浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	☐	Ａ．槽内洗浄必要
			☐	Ｂ．可児市環境課と打合せの必要あり
	☑	７．「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	☑	Ａ．産業廃棄物管理票（マニフェスト）
			☑	Ｂ．建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書
			☑	Ｃ．コブリス
			☑	Ｄ．廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	☐	１．占用支障物件あり（電気）	☐	Ａ．移設時期（Ｒ 年 月頃）
			☐	Ｂ．移設時期（別途協議）
	☐	２．占用支障物件あり（電話）	☐	Ａ．移設時期（Ｒ 年 月頃）
			☐	Ｂ．移設時期（別途協議）
	☐	３．占用支障物件あり（水道）	☐	Ａ．移設時期（Ｒ 年 月頃）
			☐	Ｂ．移設時期（別途協議）
	☐	４．占用支承物件あり（下水道）	☐	Ａ．移設時期（Ｒ 年 月頃）
			☐	Ｂ．移設時期（別途協議）
	☐	５．占用支障物件あり（ガス）	☐	Ａ．移設時期（Ｒ 年 月頃）
			☐	Ｂ．移設時期（別途協議）
	☐	６．占用支障物件あり（ﾏﾝﾎｰﾙ蓋、仕切り弁蓋等）	☐	Ａ．管理者による高さ調整 （ ）
			☐	Ｂ．請負者による高さ調整 （ ）
	☐	７．占用支障物件あり（その他）	☐	Ａ．移設時期 （ ）
			☐	Ｂ．移設時期 （別途協議）
	☐	８．その他	☐	Ａ．その他（ ）
排水工関係	☐	１．濁水、湧水処理条件あり	☐	Ａ．方法（ ）
	☐	２．その他	☐	Ａ．その他（ ）
再生材使用	☑	１．再生材使用指定あり	☑	Ａ．ＲＣ
			☑	Ｂ．アスファルト再生合材（30%再生）
			☐	Ｃ．アスファルト再生合材（100%再生）
			☑	Ｄ．再生材を使用できない場合別途協議
			☐	Ｅ．
	☐	２．その他	☐	Ａ．その他（ ）
その他	☐	１．現場発生材あり	☐	Ａ．品名（ ）
			☐	Ｂ．納入場所（ ）
	☐	２．支給材あり	☐	Ａ．品名（ ）
			☐	Ｂ．引渡し場所（ ）
	☐	３．現場環境改善	☐	Ａ．仮設費（ ）
			☐	Ｂ．安全費（ ）
			☐	Ｃ．営繕費（ ）
			☐	Ｄ．地域連携（ ）
	☐	４．「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	☐	Ａ．品質証明員の配置あり
	☐	５．部分使用	☐	Ａ．範囲（ ）
			☐	Ｂ．時期（ ）
	☐	６．その他	☐	Ａ．その他（ ）

位　置　図


ふれあいパーク緑の丘
至　可児市広見
主要地方道土岐・可児線
東明小学校
主要地方道多治見・白川
施工箇所
至　土岐市
0

令和3年度久々利汚水幹線管渠布設工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
本工事費	式	1			費目行	
補助対象分	式	1			工種行	
本管布設工	式	1			種別行	
本管土工	式	1			1号明細書	
本管舗装工	式	1			2号明細書	
本管布設工	式	1			3号明細書	
マンホール設置工	式	1			種別行	
1号組立マンホール設置工	式	1			4号明細書	
仮設工	式	1			種別行	
土留工	式	1			5号明細書	
市単独費	式	1			工種行	
本管布設工	式	1			種別行	
本管土工	式	1			6号明細書	
本管舗装工	式	1			7号明細書	

令和3年度久々利汚水幹線管渠布設工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
仮設工	式	1			種別行	
土留工	式	1			8号明細書	
交通誘導警備員	式	1			9号明細書	
直接工事費	式	1				
共通仮設費	式	1				
共通仮設費	式	1				
運搬費	式	1			1号内訳書	
共通仮設費(率計上)	式	1				
純工事費	式	1				
現場管理費	式	1				
工事原価	式	1				
一般管理費等	式	1				
工事価格	式	1				
消費税相当額	式	1				

令和3年度久々利汚水幹線管渠布設工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
工事費計	式	1				

運搬費

内訳書

1号内訳書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
仮設材運搬 製品L≦12m 片道10km 往復	t	6.912			29号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						

本管土工

明細書

1号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
機械掘削(ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削) ｸﾛｰﾗ型･山積0.45m3(平積0.35m3)ｸﾚｰﾝ2.9t吊	m3	850			1号代価表	
機械投入埋戻工(ﾊﾞｯｸﾎｳ) 機械投入+締固め ｸﾚｰﾝ付2.9t吊山積0.45m3 単粒度砕石	m3	98			2号代価表	
機械投入埋戻工(ﾊﾞｯｸﾎｳ) 機械投入+締固め ｸﾚｰﾝ付2.9t吊山積0.45m3	m3	460			3号代価表	
機械投入埋戻工(ﾊﾞｯｸﾎｳ) 機械投入+締固め ｸﾚｰﾝ付2.9t吊山積0.45m3 再生砕石	m3	180			4号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						

本管舗装工

明細書

2号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 As:15cm以下	m	850			5号代価表	
舗装版破砕積込(小規模土工)	m2	360			6号代価表	
下層路盤(歩道部) 140mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40	m2	261			7号代価表	
下層路盤(歩道部) 150mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40	m2	101			8号代価表	
上層路盤(歩道部) 100mm 1層施工 粒度調整砕石M-30	m2	101			9号代価表	
表層(車道･路肩部) 1.4m未満(平均仕上り厚50mm以下) 40mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3	m2	261			10号代価表	
表層(車道･路肩部) 1.4m未満(平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3	m2	101			11号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						

本管布設工

明細書

3号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ﾘﾌﾞ付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管設置工 管径200mm 20m以上	m	419.400			12号代価表	
砕石基礎設置(機械施工) 10m3以上 2.5-20mm	m3	36			13号代価表	
埋設標識ｼｰﾄ 上下水道用 幅150 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ ｼﾝｸﾞﾙ	m	419				
埋設表示テープ（下水道用） 貼付タイプ W=50mm　L=20m	m	419				
諸　雑　費	式	1				
計						

1号組立マンホール設置工

明細書

4号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ﾏﾝﾎｰﾙ蓋（可児市型）JSWAS G-4 T-14 φ600　サツキ模様	組	7				
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ・調整駒(受枠変形防止) 150-M16 保護ｽﾘｰﾌﾞ等を含む	組	7				
ﾏﾝﾎｰﾙ用管理番号 7桁	組	7				
組立式ﾏﾝﾎｰﾙ 調整ﾘﾝｸﾞ 600×100mm	個	3				
組立式ﾏﾝﾎｰﾙ 調整ﾘﾝｸﾞ 600×150mm	個	1				
1号ﾏﾝﾎｰﾙ(1種) 斜壁 上径600×下径900×高300mm	個	1				
1号ﾏﾝﾎｰﾙ(1種) 斜壁 上径600×下径900×高450mm	個	4				
1号ﾏﾝﾎｰﾙ(1種) 斜壁 上径600×下径900×高600mm	個	2				
1号ﾏﾝﾎｰﾙ(1種) 直壁 900×600mm	個	2				
1号ﾏﾝﾎｰﾙ(1種) 管取付壁 900×1500mm	個	2				
1号ﾏﾝﾎｰﾙ(1種) 管取付壁 900×1800mm	個	5				
1号ﾏﾝﾎｰﾙ(1種) 底版 有効高130	個	7				
底部工(組立式) ｲﾝﾊﾞｰﾄ付底塊使用しない RC-40	箇所	7			14号代価表	
内副管取付工 内径100~300mm 段差1.0m未満	箇所	2			15号代価表	

1号組立マンホール設置工

明細書

4号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
組立式ﾏﾝﾎｰﾙ削孔代 0号･1号(1種) 塩ﾋﾞ管用 200用	箇所	7				
ﾏﾝﾎｰﾙ用可とう継手 貼付ﾀｲﾌﾟ 塩ﾋﾞ管(ﾘﾌﾞ)径200㎜	個	14				
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所以上 1号(内径900㎜)深さ3m以下	箇所	7			16号代価表	
鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙふた(下水道用) 有効径φ600㎜ 安全対策付属品 転落防止はしご 転落防止装	組	5				
諸　雑　費	式	1				
計						

土留工

明細書

5号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
軽量鋼矢板建込工（両側分） 有効幅250mm 掘削深2.0m以下	m	117.100			17号代価表	
軽量鋼矢板引抜工（両側分） 有効幅250mm 掘削深2.0m以下	m	117.100			18号代価表	
軽量鋼矢板建込工（両側分） 有効幅250mm 掘削深2.5m以下	m	149			19号代価表	
軽量鋼矢板引抜工（両側分） 有効幅250mm 掘削深2.5m以下	m	149			20号代価表	
軽量鋼矢板建込工（両側分） 有効幅250mm 掘削深3.0m以下	m	159.600			21号代価表	
軽量鋼矢板引抜工（両側分） 有効幅250mm 掘削深3.0m以下	m	159.600			22号代価表	
支保工(軽量金属)設置･撤去 1段 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	m	117.100			23号代価表	
支保工(軽量金属)設置･撤去 2段 ねじ式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	m	308.600			24号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						

本管土工

明細書

6号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
残土運搬・処分工	m3	340			25号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						

本管舗装工

明細書

7号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
舗装版切断汚泥運搬処分	m3	2			26号代価表	
舗装版運搬処分	m3	16			27号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						

土留工

明細書

8号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土留材賃料	式	1			28号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						

交通誘導警備員

明細書

9号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
交通誘導警備員B	人					
交通誘導警備員B 交代要員	人					
諸　雑　費	式	1				
計						

代価表

1号代価表

機械掘削(ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削)
ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)ｸﾚｰﾝ2.9t吊

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対1次) ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)ｸﾚｰﾝ2.9t吊	時間				1号単価表	
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

2号代価表

機械投入埋戻工(ﾊﾞｯｸﾎｳ)
機械投入+締固め ｸﾚｰﾝ付2.9t吊山積0.45m3 単粒度砕石

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
単粒度砕石 2.5-20mm	m3	120				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対1次) ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)ｸﾚｰﾝ2.9t吊	時間				1号単価表	
ﾀﾝﾊﾟ締固め	m3	100			30号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

3号代価表

機械投入埋戻工(ﾊﾞｯｸﾎｳ)
機械投入+締固め ｸﾚｰﾝ付2.9t吊山積0.45m3

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対1次) ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)ｸﾚｰﾝ2.9t吊	時間				1号単価表	
ﾀﾝﾊﾟ締固め	m3	100			30号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

4号代価表

機械投入埋戻工(ﾊﾞｯｸﾎｳ)
機械投入+締固め ｸﾚｰﾝ付2.9t吊山積0.45m3 再生砕石

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
再生砕石 RC-40	m3	120				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対1次) ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)ｸﾚｰﾝ2.9t吊	時間				1号単価表	
ﾀﾝﾊﾟ締固め	m3	100			30号代価表	
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

舗装版切断
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 As:15cm以下

5号代価表

1ｍ当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式･切削深20cm級･ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径56cm					
R						
R1	特殊作業員					
R2	土木一般世話役					
R3	普通作業員					
Z						
Z1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径56cm(55cm)					
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ					

舗装版破砕積込(小規模土工)

代価表

6号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.13 m3(平積0.10m3)					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

下層路盤(歩道部)
140mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40

7号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ 山積み0.11m3					
K2	振動ﾛｰﾗ(賃貸) 搭乗式 ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3~4t					
R						
R1	普通作業員					
R2	運転手(特殊)					
R3	特殊作業員					
Z						
Z1	再生砕石 RC-40					
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

8号代価表

下層路盤(歩道部)
150mm 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ 山積み0.11m3					
K2	振動ﾛｰﾗ(賃貸) 搭乗式 ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3~4t					
R						
R1	普通作業員					
R2	運転手(特殊)					
R3	特殊作業員					
Z						
Z1	再生砕石 RC-40					
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

上層路盤(歩道部)
100mm 1層施工 粒度調整砕石M-30

9号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ 山積み0.11m3					
K2	振動ﾛｰﾗ(賃貸) 搭乗式 ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3~4t					
R						
R1	普通作業員					
R2	運転手(特殊)					
R3	特殊作業員					
Z						
Z1	粒度調整砕石 M-30					
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

表層(車道・路肩部)
1.4m未満(平均仕上り厚50mm以下) 40mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3

10号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	振動ﾛｰﾗ(舗装用) ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式・質量0.5~0.6t					
K2	振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ 前進型・質量40~60kg					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
Z						
Z1	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)				31号代価表	
Z2	ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用					
Z3	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ					
Z4	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

表層(車道・路肩部)
1.4m未満(平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3

11号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	振動ﾛｰﾗ(舗装用) ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式・質量0.5~0.6t					
K2	振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ 前進型・質量40~60kg					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
Z						
Z1	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)				32号代価表	
Z2	ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用					
Z3	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ					
Z4	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

ﾘﾌﾞ付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管設置工
管径200㎜ 20m以上

12号代価表

1ｍ当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ﾘﾌﾞ付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管設置[材工共] 管径200㎜	m	1				
計						
1 m 当り						

砕石基礎設置(機械施工) 10m3以上
2.5-20mm

代価表

13号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
砕石基礎設置[手間のみ] 機械施工	m3	1				
単粒度砕石 2.5-20mm	m3	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

底部工(組立式)
ｲﾝﾊﾞｰﾄ付底塊使用しない RC-40

14号代価表

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
再生砕石 RC-40	m3	0.228				
ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋･鉄筋構造物 人力打設 18-8-25(20)(高炉) 一般養生 現場内小運搬無し	m3	0.160			33号代価表	
ﾓﾙﾀﾙ上塗工(ﾏﾝﾎｰﾙ用) 厚2cm 高炉1:2ﾊﾞﾗ物荷渡し場所及び取	m2	0.740			34号代価表	
計						
1 箇所 当り						

代価表

内副管取付工 内径100~300mm
段差1.0m未満

15号代価表

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
下水道用硬質塩ﾋﾞ管継手(副管用) 90° 曲管 90ST 呼び径150mm	個	1				
硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 薄肉管(VU) 150 165×5.1×4	m	0.411				
内副管用継手 φ200-150 ｺﾞﾑ製ﾏﾝﾎｰﾙ可とう継手対応型	個	1				
固定バンド(内副管固定) φ150 SUS	個	1				
諸　雑　費	式	1				
計						
1 箇所 当り						

代価表

組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所以上
1号(内径900㎜)深さ3m以下

16号代価表

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工[手間のみ] 1号(内径900㎜) 深さ3m以下	箇所	1				
計						
1 箇所 当り						

代価表

軽量鋼矢板建込工（両側分）
有効幅250mm 掘削深2.0m以下

17号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対2次) ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				2号単価表	建込
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

軽量鋼矢板引抜工（両側分）
有効幅250mm 掘削深2.0m以下

18号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日					引抜
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

軽量鋼矢板建込工（両側分）
有効幅250mm 掘削深2.5m以下

19号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対2次) ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				2号単価表	建込
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

軽量鋼矢板引抜工（両側分）
有効幅250mm 掘削深2.5m以下

20号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日					引抜
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

軽量鋼矢板建込工（両側分）
有効幅250mm 掘削深3.0m以下

21号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対2次) ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				2号単価表	建込
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

軽量鋼矢板引抜工（両側分）
有効幅250mm 掘削深3.0m以下

22号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日					引抜
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

支保工(軽量金属)設置･撤去
1段 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ

23号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

支保工(軽量金属)設置･撤去
2段 ねじ式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ

24号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

残土運搬・処分工

25号代価表

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
整地 残土受入れ地での処理	m3	100			35号代価表	
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸ幼山積0.45m3(平積0.35m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 19.5km以	m3	100			36号代価表	
計						
1 m3 当り						

舗装版切断汚泥運搬処分

代価表

26号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
泥水運搬工 片道60.0km以下 DID区間無し	m3	1			37号代価表	
建設廃材処理費 ﾍﾞﾝﾄﾅｲﾄ	t	1.400				
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m3 当り						

舗装版運搬処分

代価表

27号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
殻運搬 舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID無し 22.0km以下 良好	m3	1			38号代価表	
中間処理場委託料金 ｱｽﾌｧﾙﾄ 塊	t	2 350				
計						
1 m3 当り						

土留材賃料

代価表

28号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土留材賃料	式	1				
腹起材賃料	式	1				
切梁材賃料	式	1				
水圧ポンプ賃料	式	1				
諸　雑　費	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

29号代価表

仮設材運搬 製品L≦12m
片道10km 往復

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
仮設材の運搬費 基本運賃	t	2				
積込費取卸し費 積込費+取卸し費 基地現場間往復	t	1				
計						
1 t 当り						

ﾀﾝﾊﾟ締固め

代価表

30号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾀﾝﾊﾟ（賃貸） 質量60~80kg					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ					

代価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)

31号代価表

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ再生合材 密粒度ｱｽｺﾝ(13)	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)

32号代価表

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ再生合材 密粒度ｱｽｺﾝ(13)	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

ｺﾝｸﾘｰﾄ
無筋･鉄筋構造物 人力打設 18-8-25(20)(高炉) 一般養生 現場内小運搬無し

33号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
Z						
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25(20)(高炉)				39号代価表	

代価表

ﾓﾙﾀﾙ上塗工(ﾏﾝﾎｰﾙ用)
厚2cm 高炉1:2ﾊﾞﾗ物荷渡し場所及び取

34号代価表

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ﾓﾙﾀﾙ練 高炉 1:2 ﾊﾞﾗ物荷渡し場所及び取引数量は物価資料による	m3	0.020			40号代価表	
左官	人					
普通作業員	人					
諸　雑　費	式	1				
計						
1 m2 当り						

代価表

整地
残土受入れ地での処理

35号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ 山積み0.8m3					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

土砂等運搬
標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 19.5km以下 良好

36号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

37号代価表

泥水運搬工
片道60.0km以下 DID区間無し

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
汚泥吸排車 積載質量8.0t･吸入管径75mm	日				3号単価表	
計						
1 m3 当り						

殻運搬
舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID無し 22.0km以下 良好

代価表

38号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

生ｺﾝｸﾘｰﾄ
18-8-25(20)(高炉)

39号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
(高炉)生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25,18-8-40　B種　W/C=60%以下	m3	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

ﾓﾙﾀﾙ練
高炉 1:2 ﾊﾞﾗ物荷渡し場所及び取引数量は物価資料による

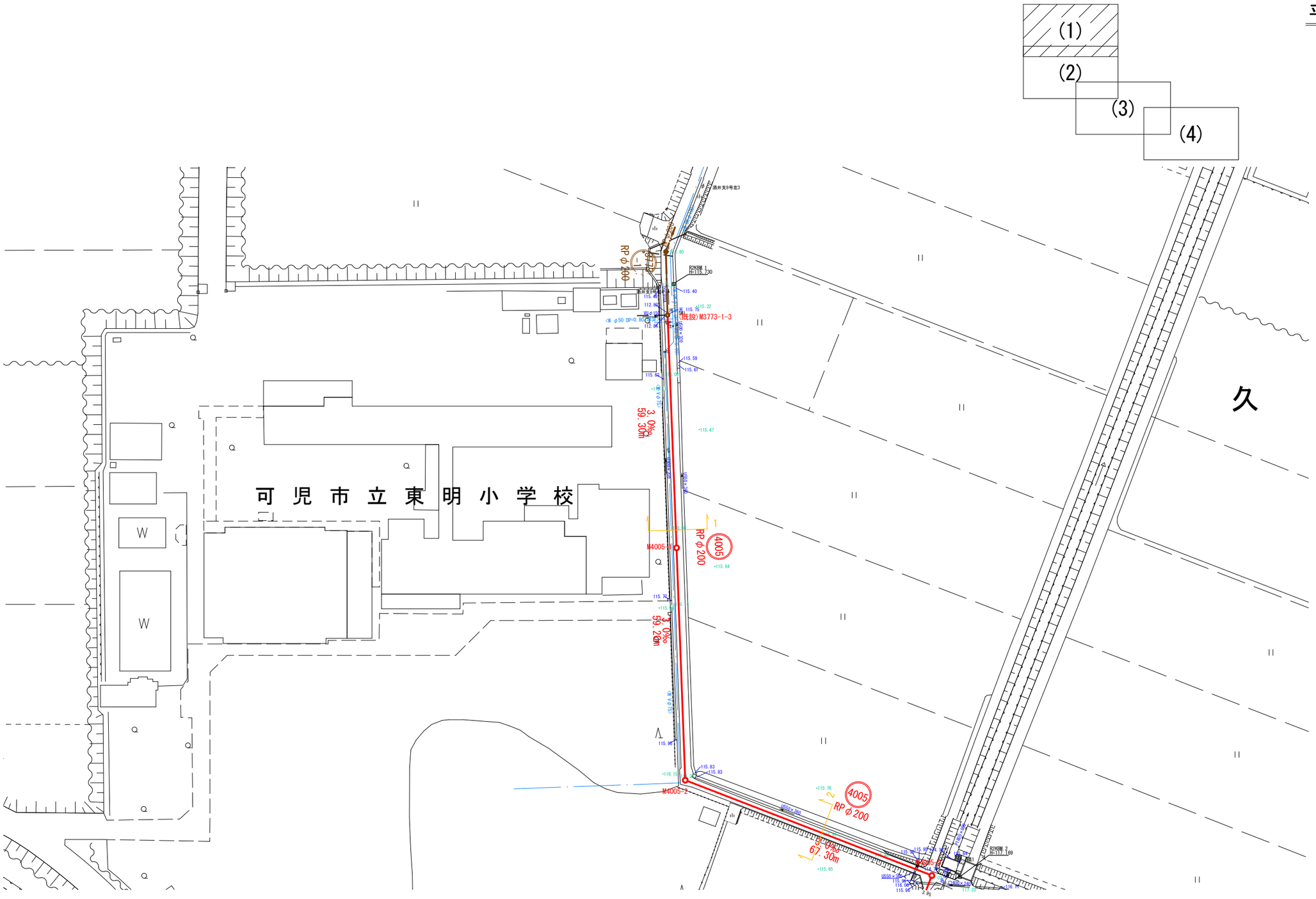
40号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
R						
R1	普通作業員					
Z						
Z1	高炉ｾﾒﾝﾄ(B) ﾊﾞﾗ物 荷渡し場所及び取引数量は物価資料による					
Z2	ｺﾝｸﾘｰﾄ用砂 ｺﾝｸﾘｰﾄ用砂					

平面図(1)

S=1:1000



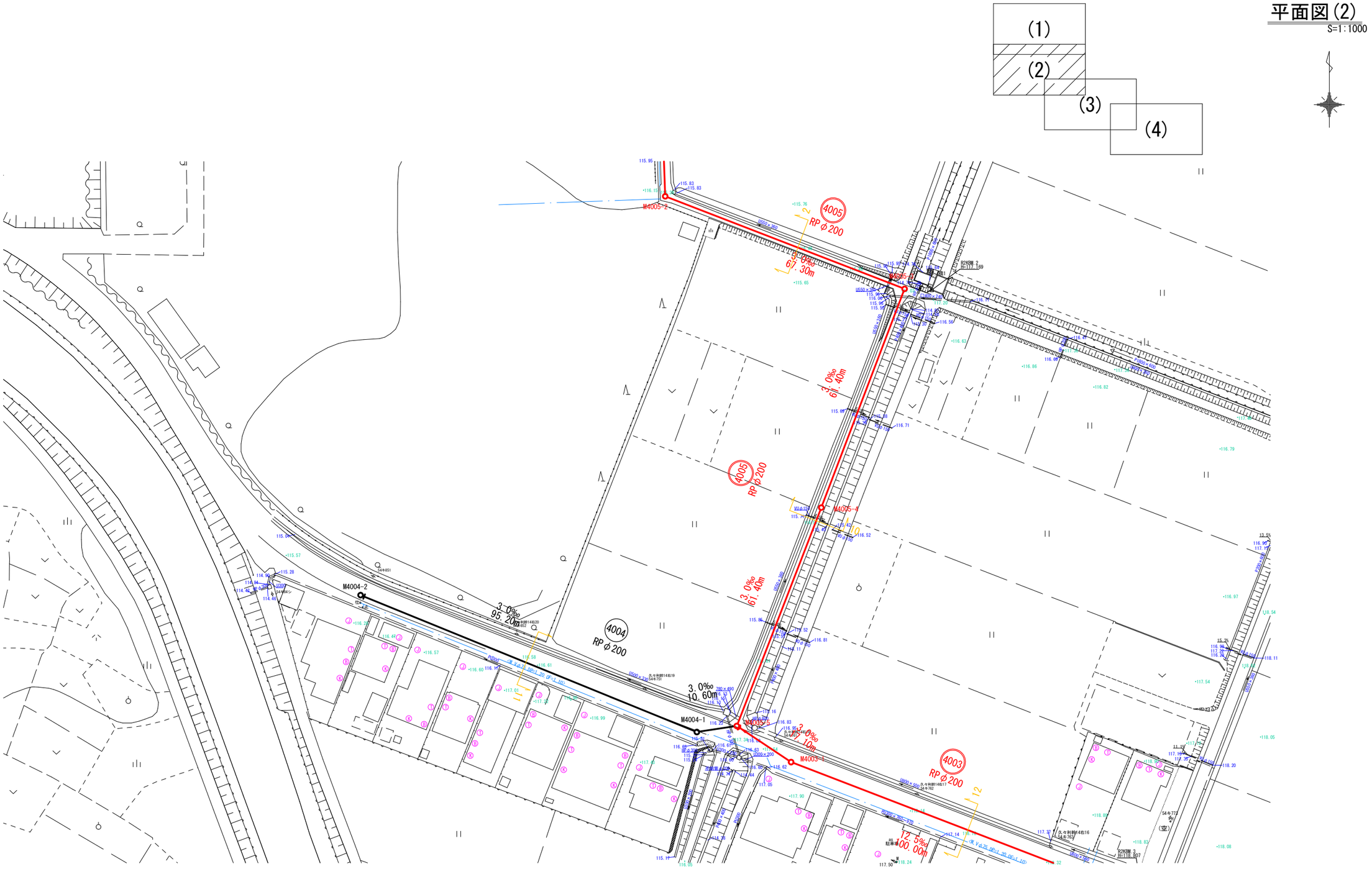
凡 例

	計 画 管 路
	既 設 管 路
	組立1号マンホール
	楕円組立マンホール
	小口径塩ビマンホール
	小型レジンマンホール
	内副管付マンホール

工事名	令和３年度久々利汚水幹線 管渠布設工事		
工事箇所	可児市　久々利　地内		
図面名	平面図(1)		
縮尺	1/1000	図面番号	1
可児市水道部下水道課			

平面図(2)

S=1:1000



凡 例

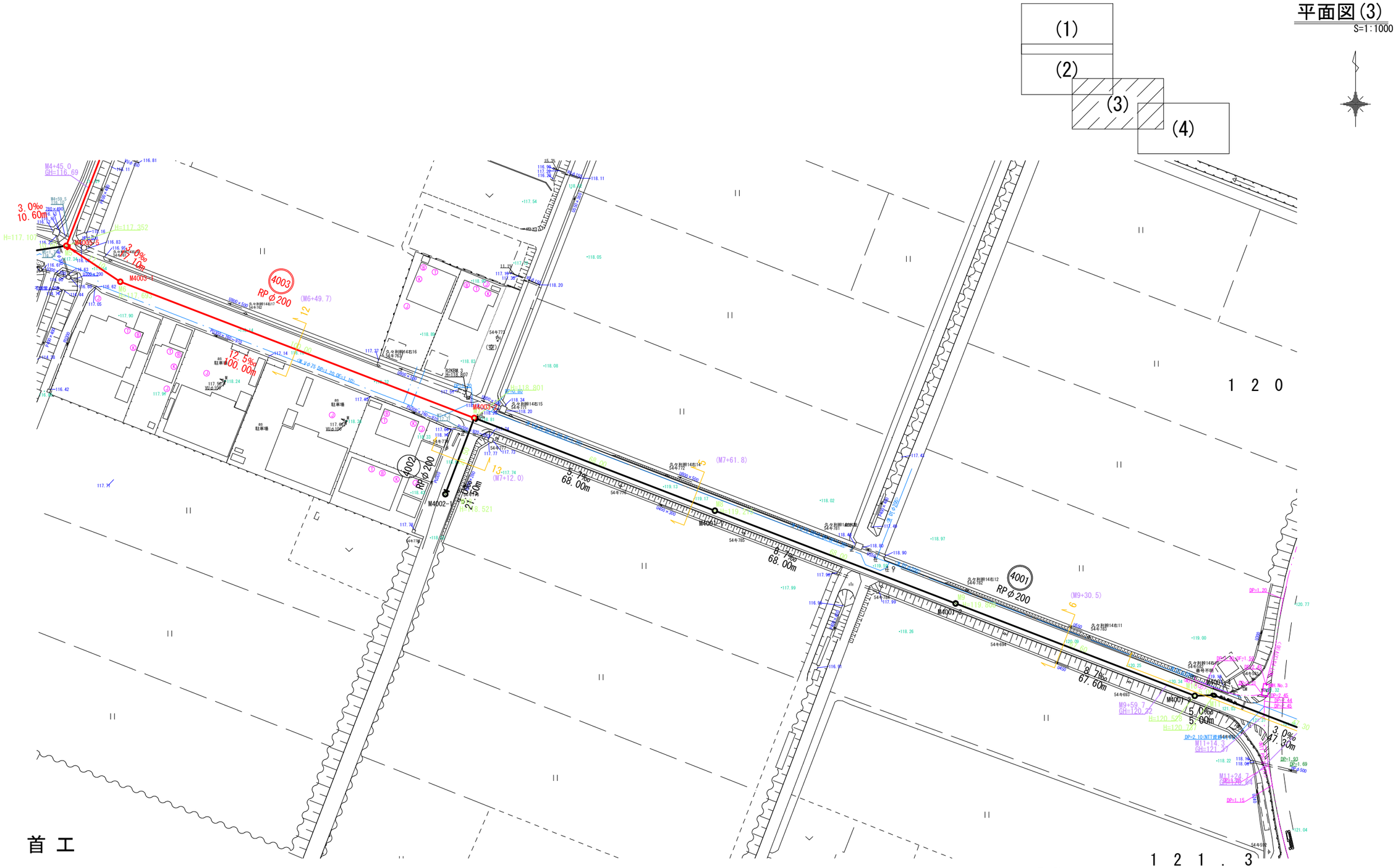
	計 画 管 路
	既 設 管 路
	組立1号マンホール
	楕円組立マンホール
	小口径塩ビマンホール
	小型レジンマンホール
	内副管付マンホール

工事名	令和３年度久々利汚水幹線 管渠布設工事		
工事箇所	可児市　久々利　地内		
図面名	平面図(2)		
縮尺	1/1000	図面番号	2

可児市水道部下水道課

平面図(3)

S=1:1000



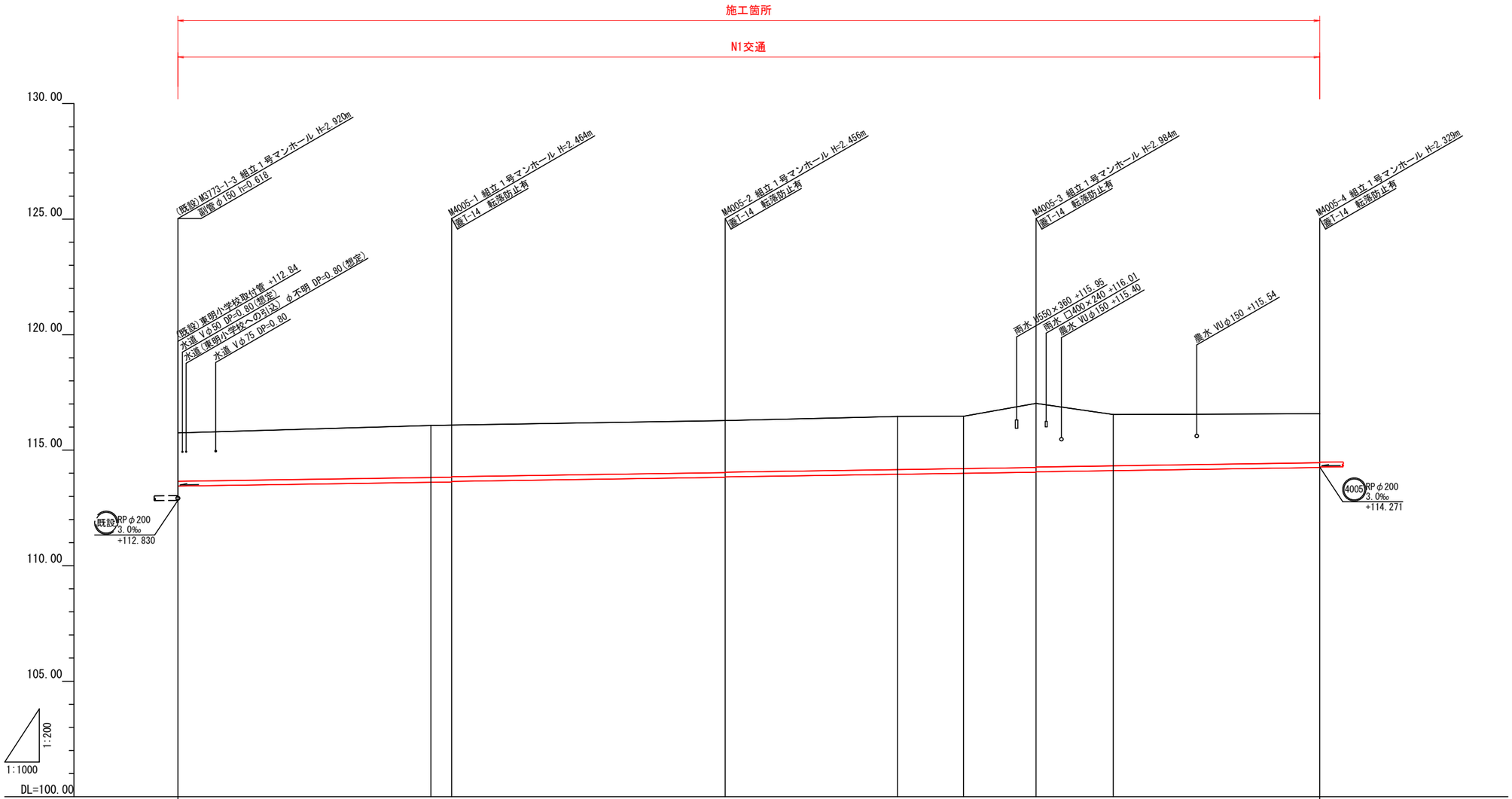
凡 例

←	計 画 管 路
←	既 設 管 路
○	組立1号マンホール
⬭	楕円組立マンホール
Ⓢ	小口径塩ビマンホール
Ⓡ	小型レジンマンホール
○	内副管付マンホール

工事名	令和３年度久々利汚水幹線 管渠布設工事		
工事箇所	可児市　久々利　地内		
図面名	平面図(3)		
縮尺	1/1000	図面番号	3
可児市水道部下水道課			

縦断図(1)

V=1:200
H=1:1000



管径(mm)	RPφ200																	
勾配(‰)	3.0																	
人孔距離(m)		59.30				59.20				67.30				61.40				
土被(m)	2.10		2.25	2.26	2.24		2.25	2.23		2.30	2.27	2.78	2.76	2.22		2.12		
管底深(m)	2.302		2.458	2.464	2.444		2.456	2.436		2.504	2.471	2.984	2.964	2.424		2.329		
管底高(m)	113.448		113.612	113.626	113.646		113.824	113.844		113.956	113.999	114.046	114.066	114.116		114.251		
現況地盤高(m)	115.75		116.07	116.09			116.28			116.46	116.47	117.03		116.54		116.58		
計画地盤高(m)	115.75		116.07	116.09			116.28			116.46	116.47	117.03		116.54		116.58		
追加距離(m)	0.00		54.80	59.30			118.50			155.80	170.10	185.80		202.50		247.20		
単距離(m)	0.00			59.30			59.20				51.60	15.70		16.70		44.70		
測点	M3773-1-3		1	M4005-1			M4005-2			2	+51.60	M4005-3		+16.70		M4005-4		

管番号表

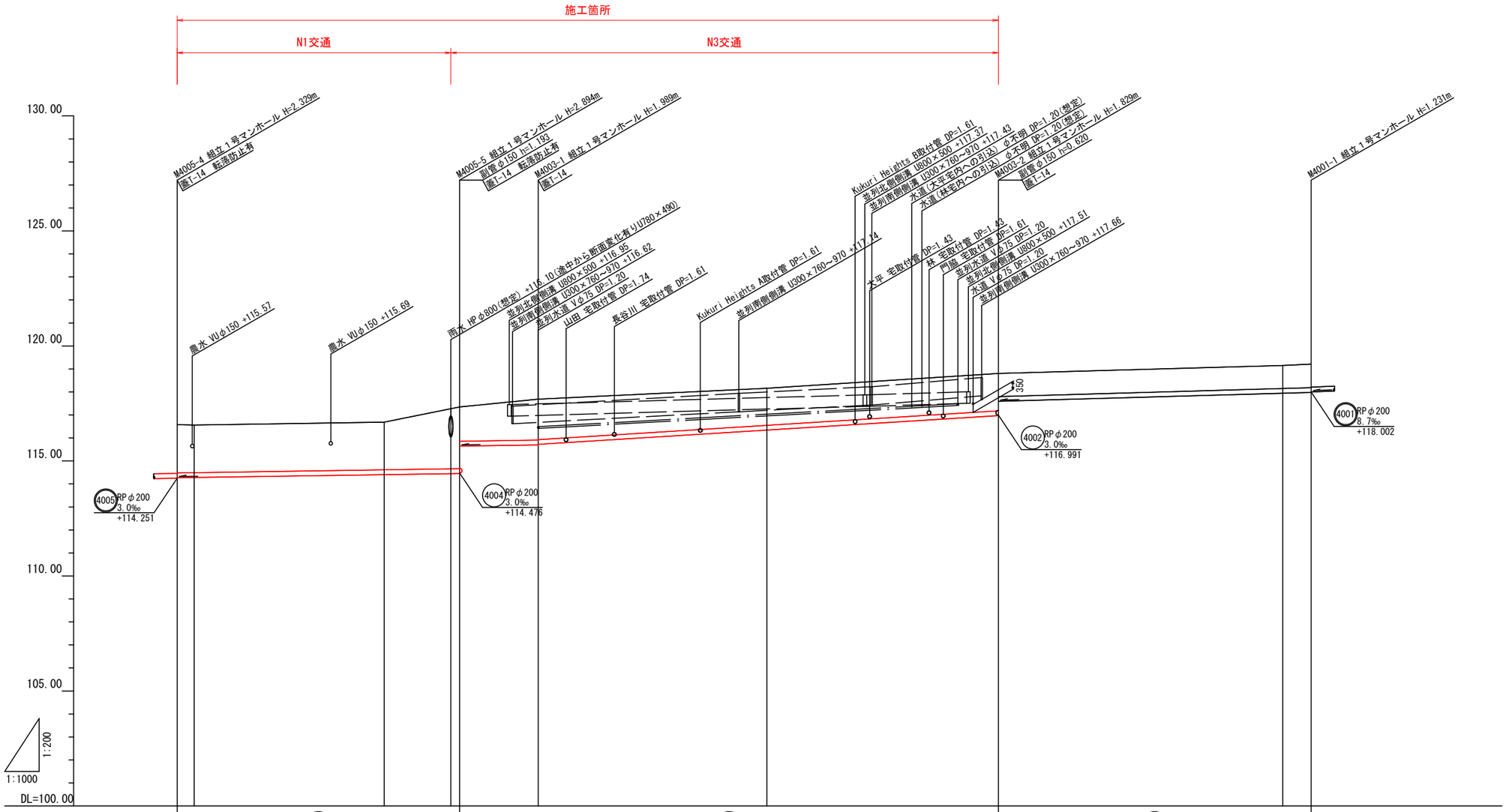
4005			

工事名	令和3年度久々利汚水幹線 管渠布設工事		
工事箇所	可児市　久々利　地内		
図面名	縦断図(1)		
縮尺	V=1/200 H=1/1000	図面番号	4

可児市水道部下水道課

縦断図(2)

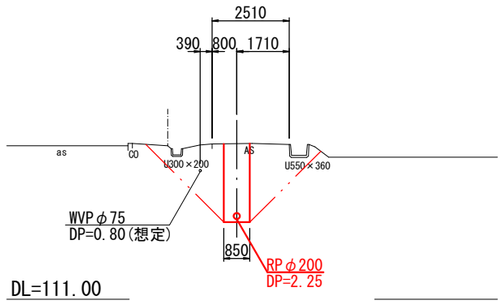
V=1:200
H=1:1000



| | | |

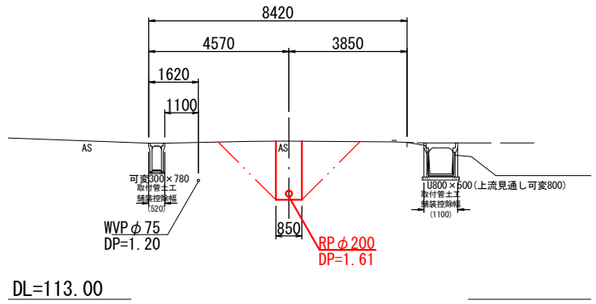
横 断 図 (1) 縮 尺 1/200

1(M3773-1-3+54.8)
GH=116.07
FH=113.612



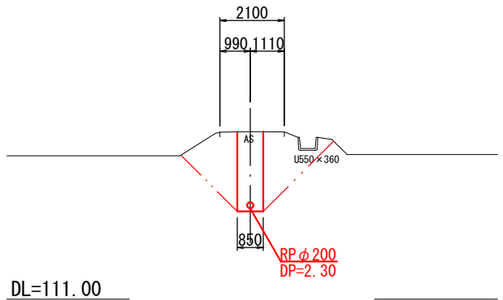
DL=111.00

12(M4003-1+49.7)
GH=118.16
FH=116.342



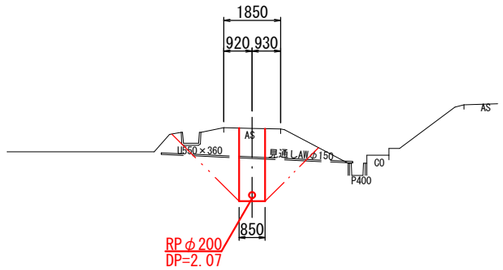
DL=113.00

2(M4005-2+37.3)
GH=116.46
FH=113.956



DL=111.00

10(M4005-4+3.7)
GH=116.56
FH=114.282



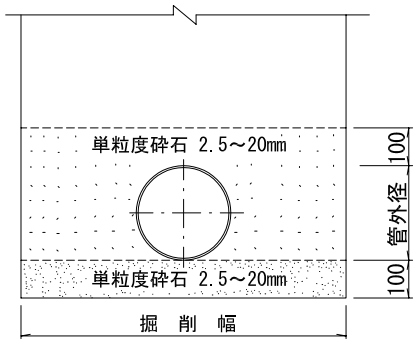
DL=111.00

工事名	令和３年度久々利汚水幹線 管渠布設工事		
工事箇所	可児市　久々利　地内		
図面名	横断図(1)		
縮尺	1/200	図面番号	6
可児市水道部下水道課			

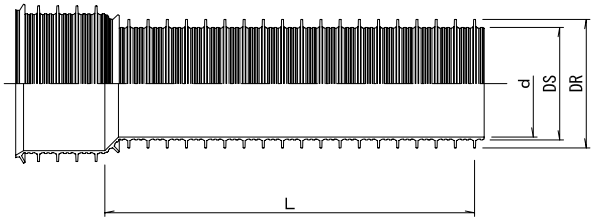
図番	7

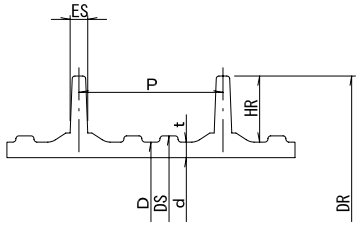
基礎工

S＝1：20



片受直管





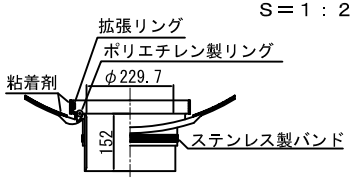
寸法表

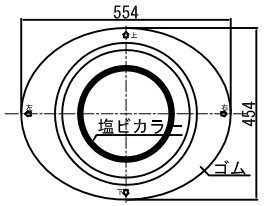
（単位mm）

呼び径	ｼｰﾙ部外径 DS	厚さ t	外径 D（参考）	リブ外径 DR（参考）	リブ高さ HR（参考）	リブ間隔 P	リブ幅 ES（参考）	近似内径 d（参考）	1m当り質量（kg）（参考）	L
150	157.5±0.6	$2.4^{+0.8}_{-0}$	155.5	171.0	7.7	19.1±0.6	3.1	150	3.000	4000^{+30}_{-10}
200	207.7±0.7	$2.4^{+0.8}_{-0}$	205.5	228.8	11.6	25.4±0.8	3.6	200	4.350	
250	258.5±0.9	$2.7^{+0.8}_{-0}$	256.1	286.2	15.0	30.5±0.9	4.4	250	6.380	
300	309.7±1.0	$3.0^{+1.2}_{-0}$	307.1	343.6	18.2	38.1±1.1	5.4	300	9.020	4000^{+40}_{-10}
350	360.2±1.1	$3.1^{+1.2}_{-0}$	357.4	400.6	21.6	38.1±1.1	5.9	350	12.030	
400	412.0±1.3	$3.8^{+1.4}_{-0}$	409.0	458.4	24.7	50.8±1.5	7.2	400	15.760	4000^{+50}_{-10}
450	462.5±1.4	$4.0^{+1.4}_{-0}$	459.3	514.6	27.6	50.8±1.5	7.8	450	19.750	
500	512.9±1.6	$4.1^{+1.4}_{-0}$	509.5	571.2	30.8	50.8±1.5	8.7	500	24.440	

マンホール継手参考図

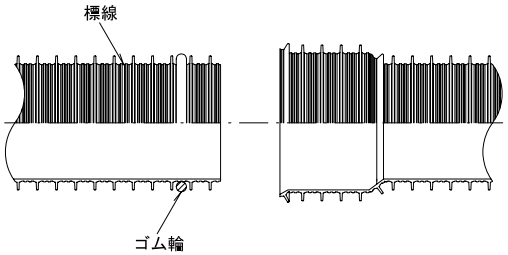
S＝1：20

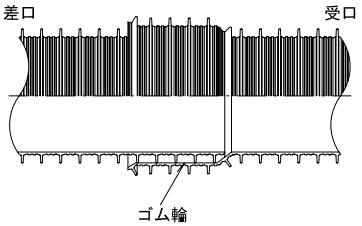




（RPφ200用）

ゴム輪接合





ゴム輪取付位置（ゴム輪差口）

管端より第２番目と第３番目のリブの間とする。

標線をマジックインキなどで記入する。

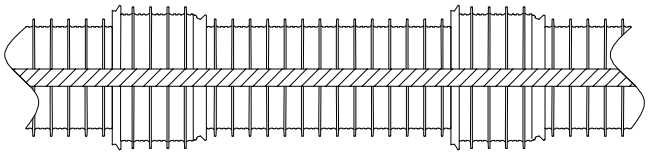
標線位置

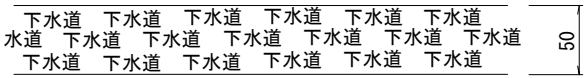
呼び径φ150は、管端より第６番目と第７番目のリブの間とする。

呼び径φ200以上は、管端より第５番目と第６番目のリブの間とする。

図名	リブ付硬質塩化ビニル管標準図				
分類	1－7	縮尺	—	図番	7
可児市水道部下水道課					

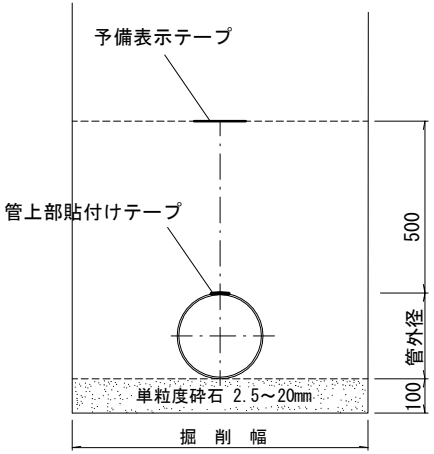
管上部貼付け



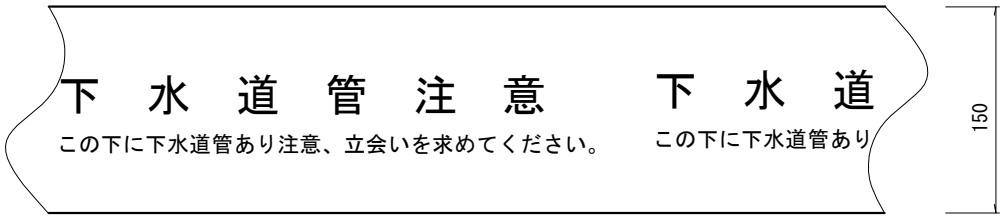


※茶色、黒文字：管上部に貼付け

断　面　図



予備表示テープ



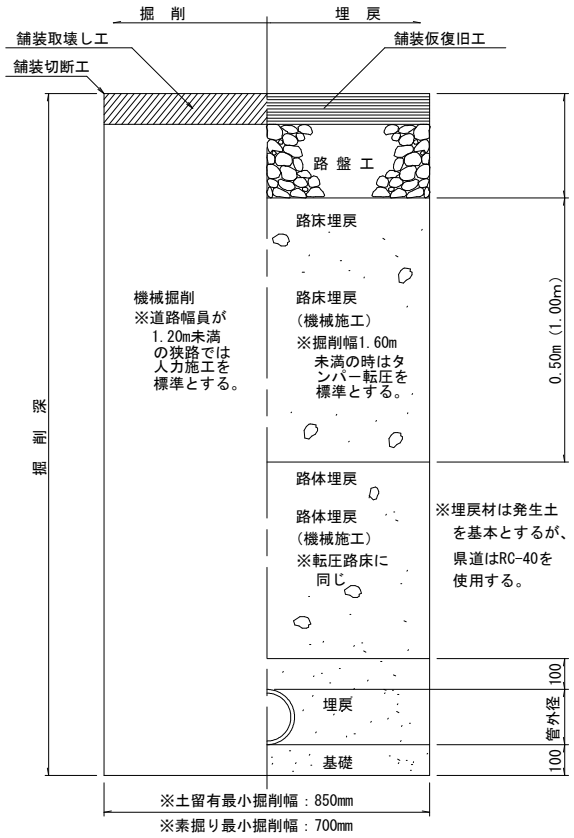
※茶色、白文字：管上50cmに敷設、

図名	埋設表示テープ標準図				
分類	1-8	縮尺	—	図番	
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課					

図　番	

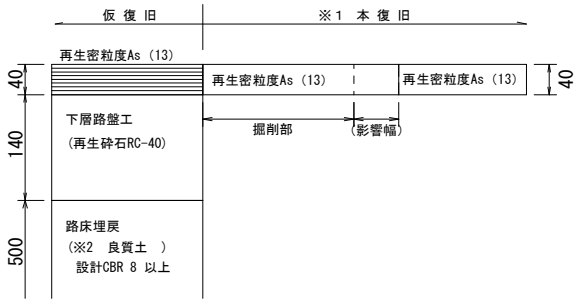
土工定規図及び舗装復旧工標準図

土 工 定 規 図

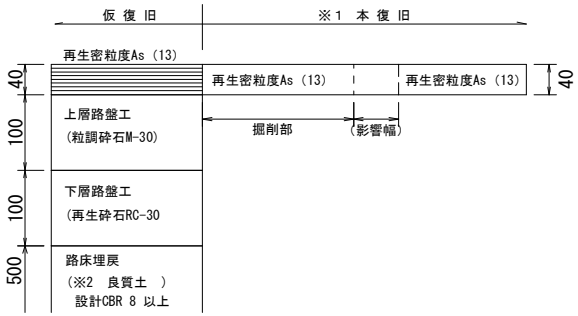


舗 装 復 旧 標 準 図

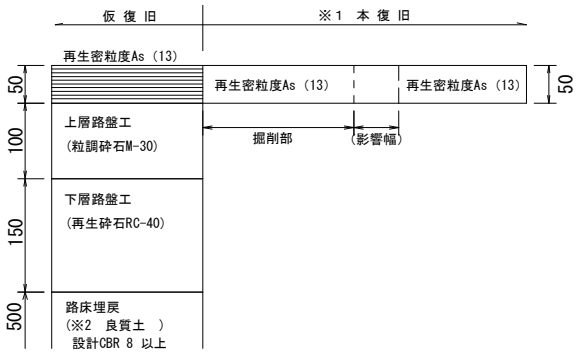
N1交通　T＜15



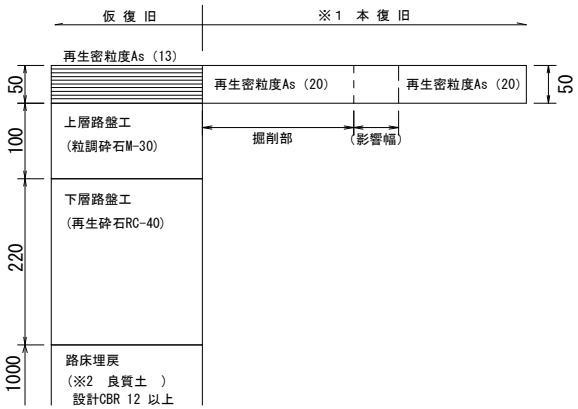
N2交通　15≦T＜40



N3交通　40≦T＜100



N4交通　100≦T＜250



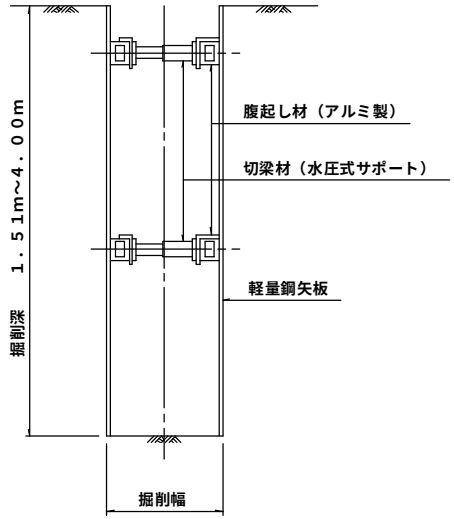
※1 本復旧範囲は、影響部も含め道路管理者の指示による。
※2 購入土を標準とするが、発生土の設計ＣＢＲが３以上の場合は、発生土の流用を検討する。

図名	土工定規図・舗装復旧工標準図（1）				
分類	２－１（１）	縮尺	―	図番	
可 児 市 水 道 部 下 水 道 課					

図番	

軽量鋼矢板土留工標準図

断面図



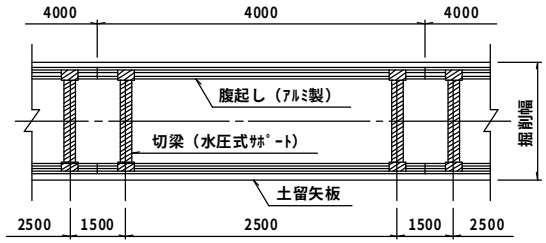
軽量鋼矢板建込み支保工設置基準

掘削深	支保工段数	腹起し材	切梁材
2.00m以下	1段支保	ｱﾙﾐ製 t=7cm	水圧式サポート
2.01m以上 3.50m以下	2段支保	ｱﾙﾐ製 t=11cm (ｱﾙﾐ製 t= 7cm)	〃
3.51m以上 4.00m以下	3段支保	〃　〃	〃

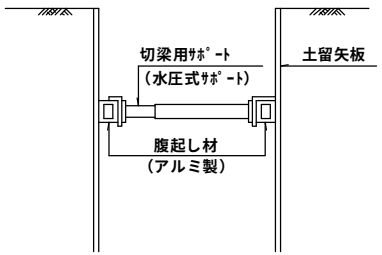
※２段支保で腹起し材厚t=7cmを使用する場合は、構造計算書を添付するものとする。

軽量金属支保工標準図

平面図



断面図



軽量金属支保工材料表(100m,1段当り)

腹起し長さ　4m	腹起し材	５０．０本
	切梁材	５０．０本

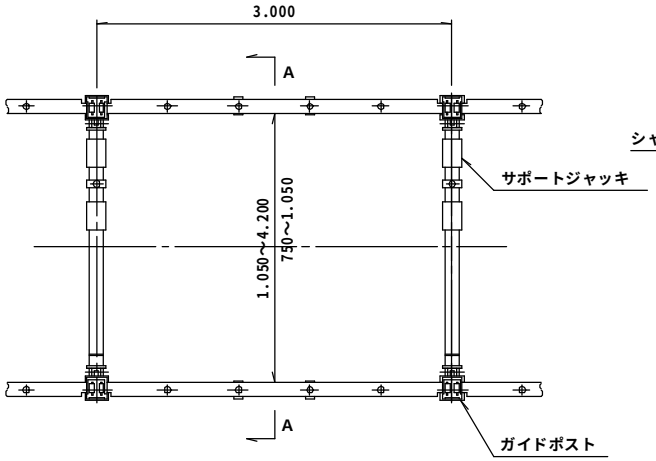
※土質条件が不安定な時は構造計算書を添付するものとする。

図名	軽量鋼矢板土留・軽量金属支保工標準図				
分類	３－１	縮尺	―	図番	

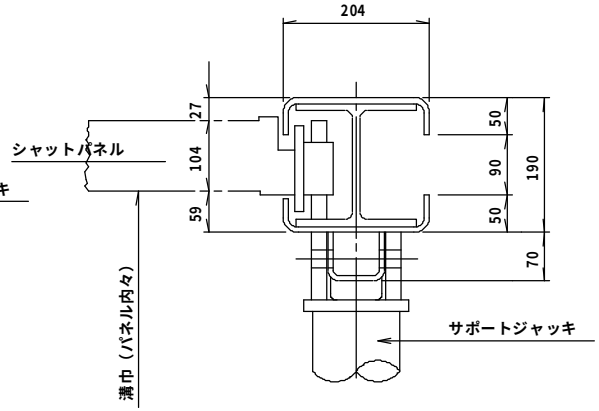
可児市水道部下水道課

図番	

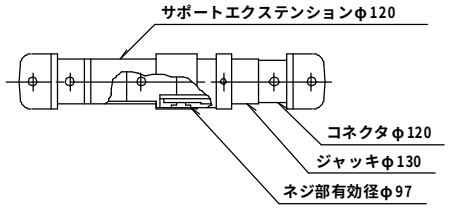
平　面　図



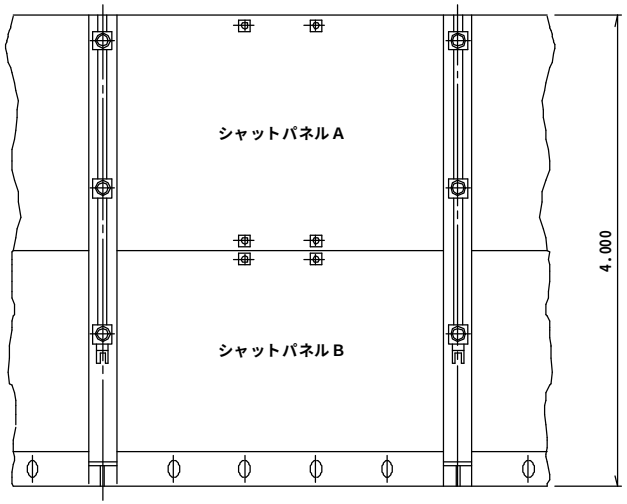
ガイドポスト断面詳細



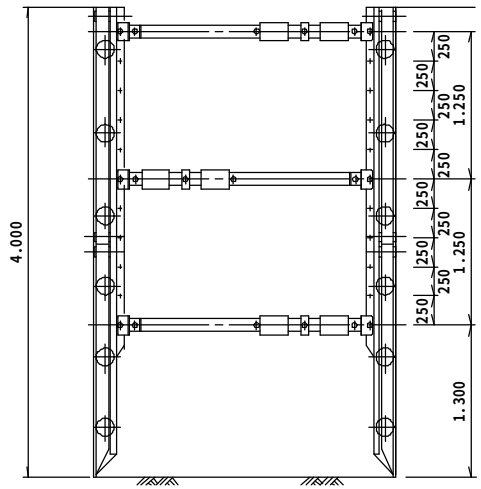
サポートジャッキ詳細　(1)



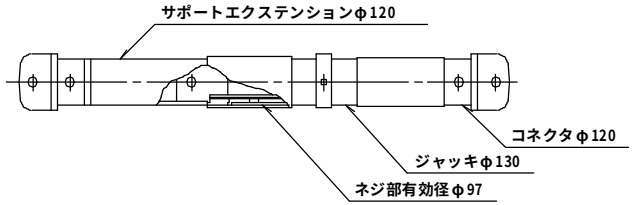
正　面　図



断面　A－A



サポートジャッキ詳細　(2)



※土質条件が不安定な時は構造計算書を添付するものとする。

※掘削幅1.05m以下はサポートジャッキ（1)型とする。

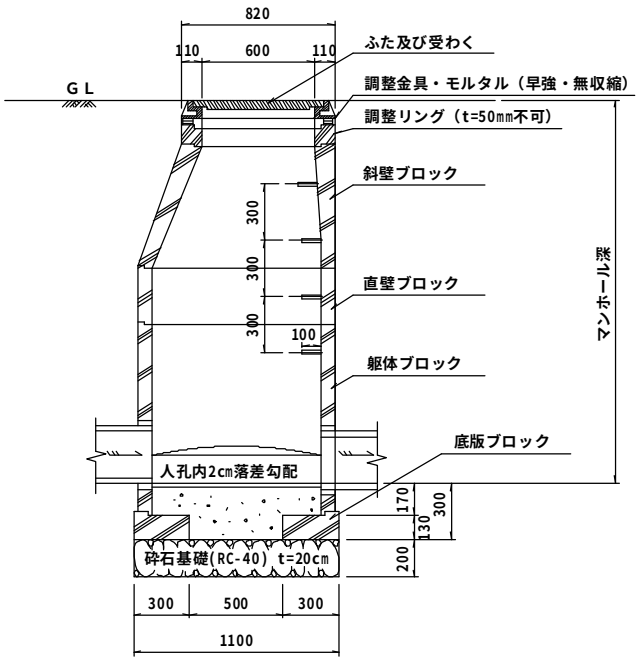
※本図は参考図であり施工に際しては、本品又は同等品を使用するものとする。

図名	たて込み簡易土留工参考図				
分類	3－2	縮尺	—	図番	
可児市水道部下水道課					

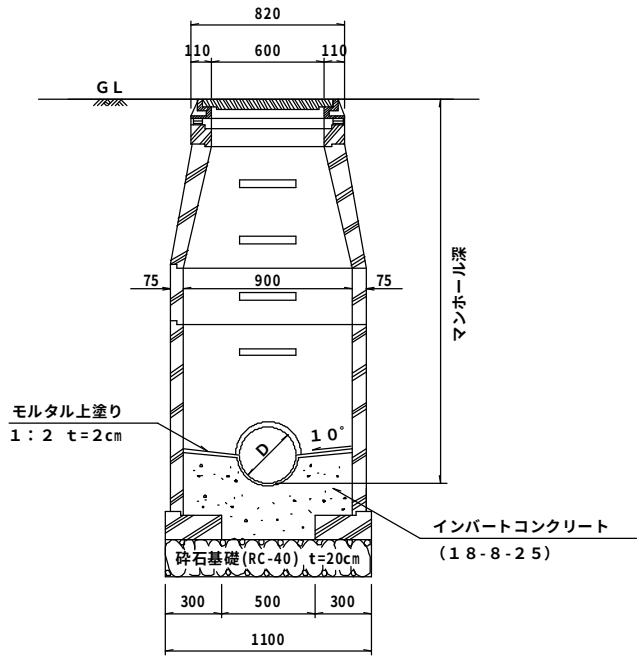
図番	

組立１号マンホール標準図

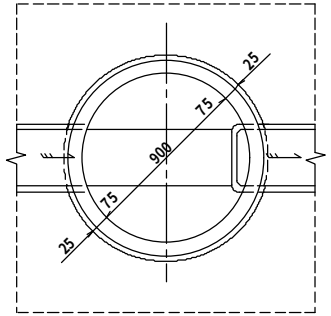
縦断面図



横断面図



平面図



底部工材料表（内径φ200mm）

１ヶ所当り

種別	形状・寸法	計算式	単位	数量
砕石基礎	ＲＣ－４０	$\pi/4\times1.100^2$	m^2	０．９５
コンクリート	１８－８－２５	$\pi/4\times0.900^2\times(0.200/2+0.170+0.020/2)-\pi/4\times0.200^2\times1/2\times0.900$	m^3	０．１６
モルタル上塗	１：２ t=２cm	$\pi/4\times0.900^2+\pi\times0.200\times1/2\times0.900-0.200\times0.900$	m^2	０．７４

図名	組立１号マンホール標準図				
分類	４－３	縮尺	—	図番	
可児市水道部下水道課					

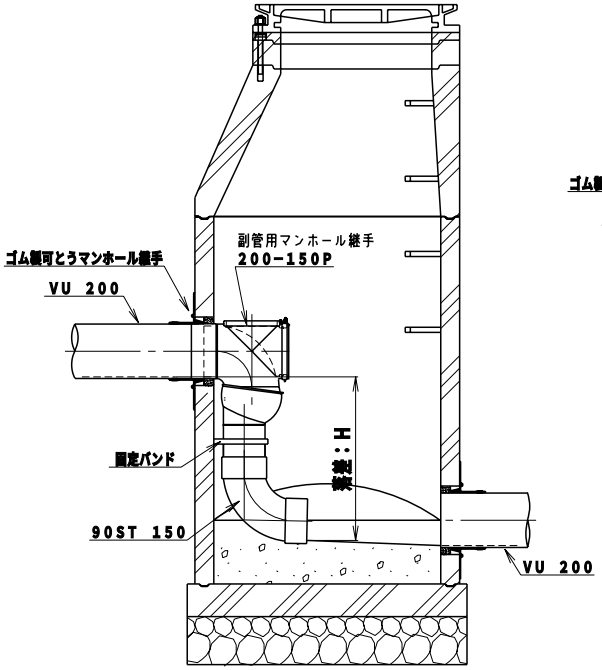
図　番	

組立マンホール用内副管工詳細図

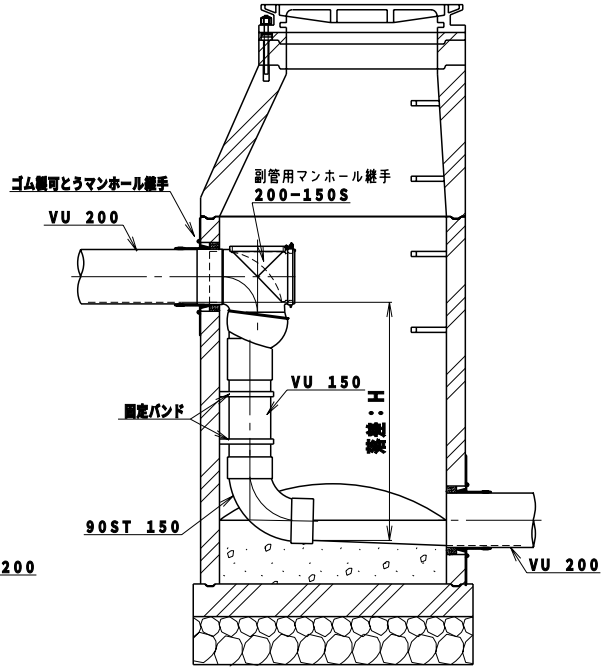
本管径：φ200
副管径：φ150

200−150P　(550≦H<650)

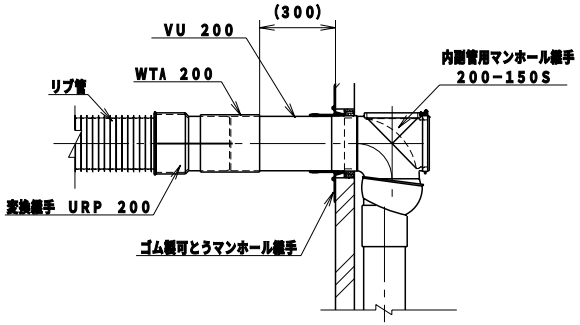
※内副管用マンホール継手の流出部分（差口部）を切断し落差を調整する。



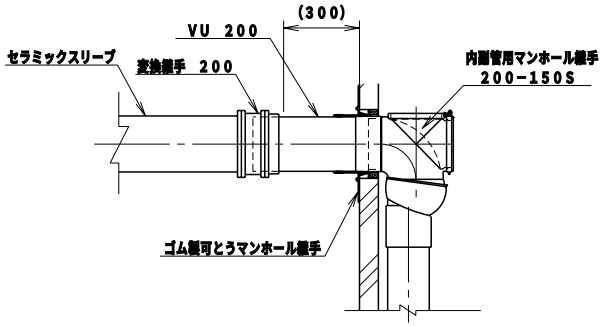
200−150S　(650≦H)



リブ管との接続詳細図



セラミックスリーブ管との接合詳細図



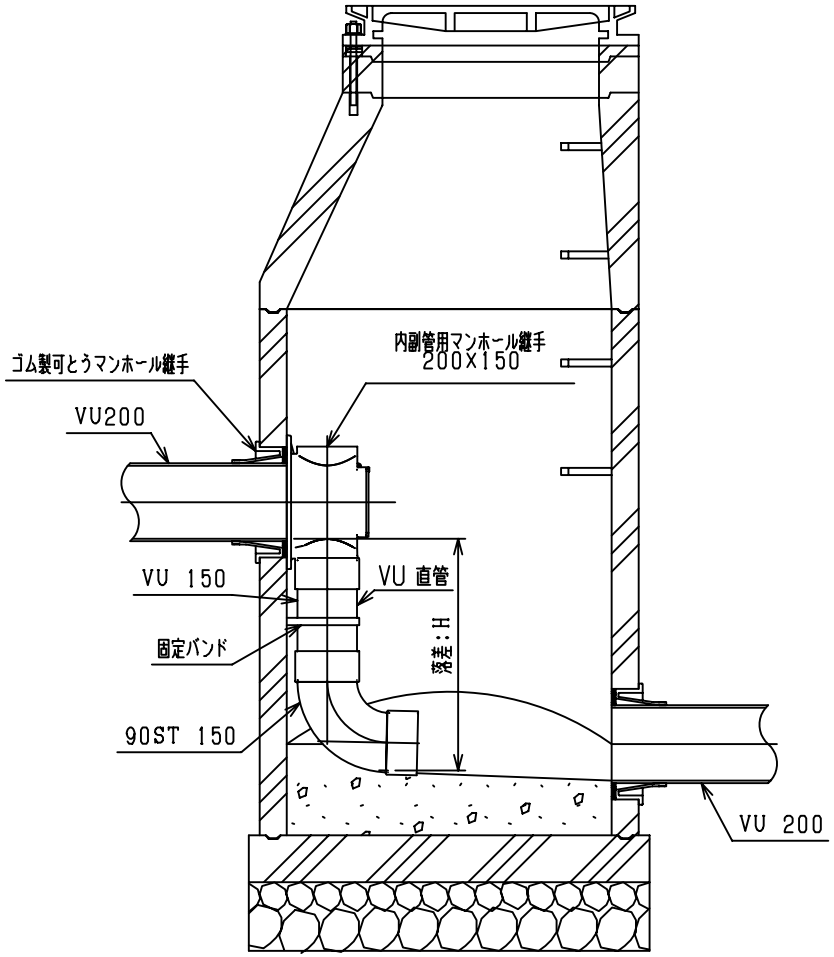
部材表

呼び	−	150−125	200−150	
適用範囲	mm	530≦H	550≦H<650	650≦H
内副管用継手タイプ	−	Sタイプ	Pタイプ	Sタイプ
VU直管	m	H−0.38	−	H−0.48
90°曲管	個	1	1	1
固定バンド	個	※1	1	※1

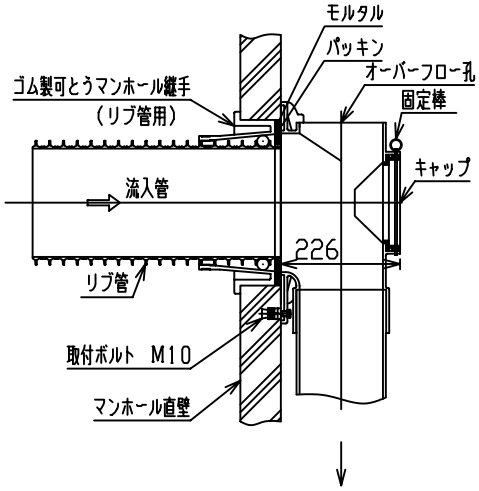
※直管部分1m以下の場合に適用し標準とする。ただし、それ以上の場合は1m毎に1箇所程度考慮する。
※すべて、下部材に90STを使用した場合。

図名	内副管工詳細図　（参考図）				
分類	4−7	縮尺	—	図番	
可児市水道部下水道課					

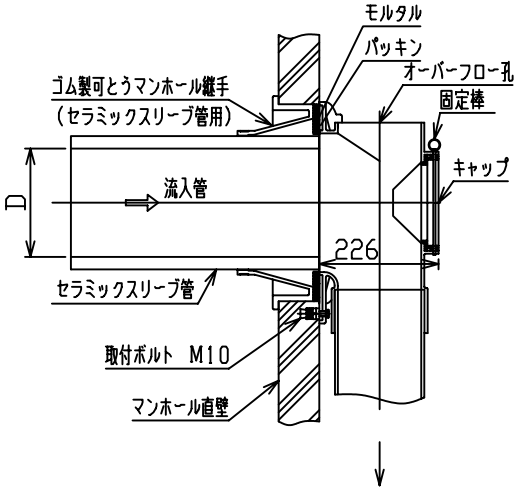
組立マンホール用内副管工詳細図



リブ管との接続詳細図



セラミックスリーブ管との接続詳細図



部材表

呼び径		150X100	150	200X150
適要範囲	mm	372<H	468<H	470<H
VU直管	mm	H-269	H-305	H-307
90°曲管	個	1	1	1
固定バンド	個	※1	1	※1

※直管部分1m以下の場合に適用し標準とする。但し、それ以上の場合は、1m毎に1ヶ所程度考慮する。
※すべて、下部材に90STを使用した場合。

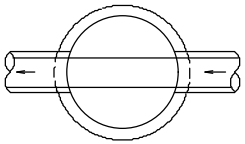
図名	内副管工詳細図（参考図）				
分類	4-7	縮尺	－	図番	
	可児市水道部下水道課				

図番	

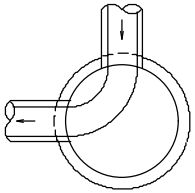
インバート標準平面図

※　インバート形状は各号人孔共通とする。
※　上記以外の場合は各組合わせにより形状を決定するものとする。

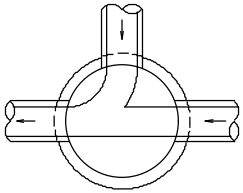
タイプA



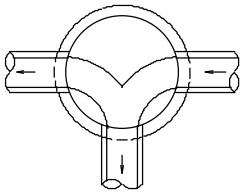
タイプB



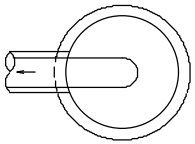
タイプC



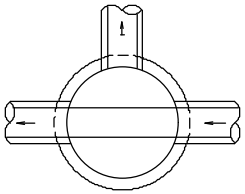
タイプD



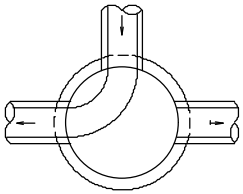
タイプE



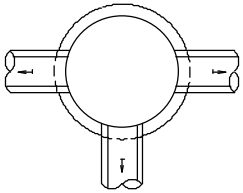
タイプF



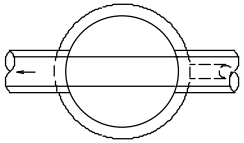
タイプG



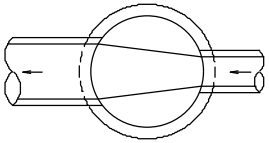
タイプH



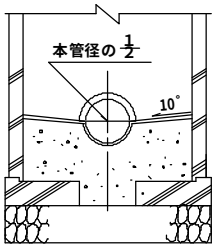
タイプI



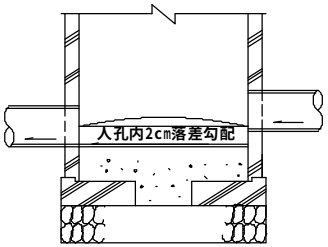
タイプJ



インバート横断勾配



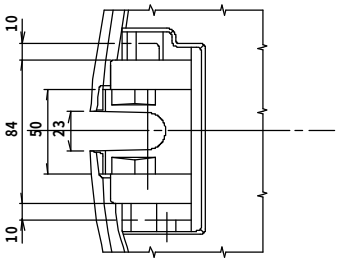
インバート縦断勾配



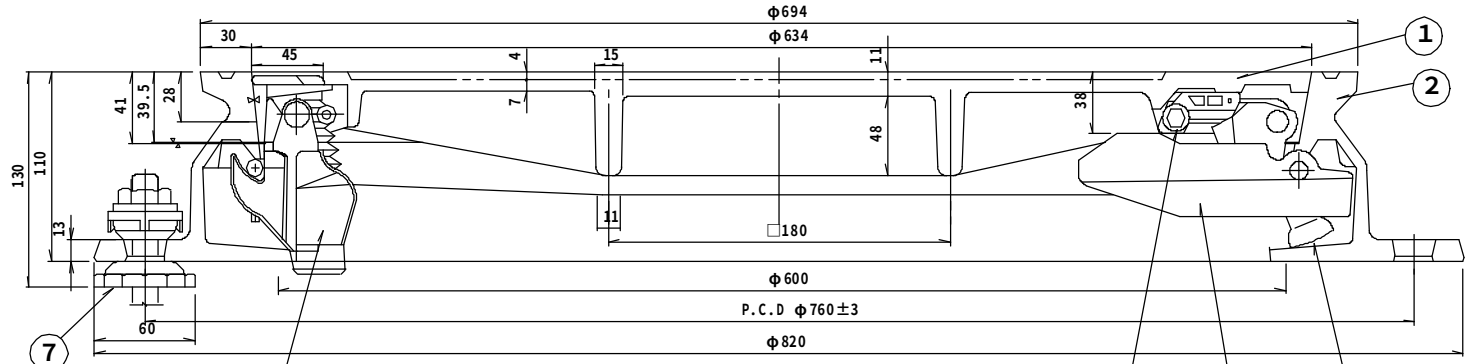
図名	マンホールインバート工標準図				
分類	4－8	縮尺	—	図番	
可児市水道部下水道課					

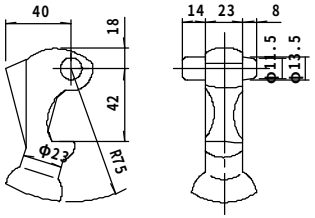
図番

車道用人孔蓋標準図（T－14）

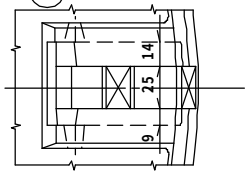


シールロック取付座詳細図

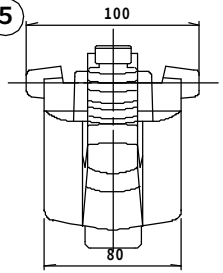


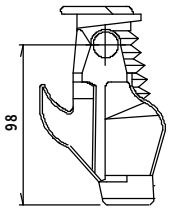


③コネクタ詳細図



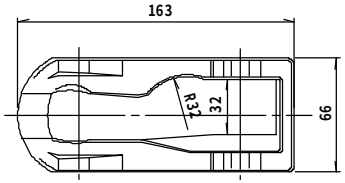
コネクタ取付座詳細図

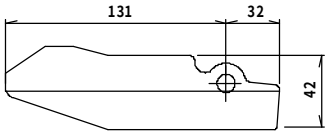




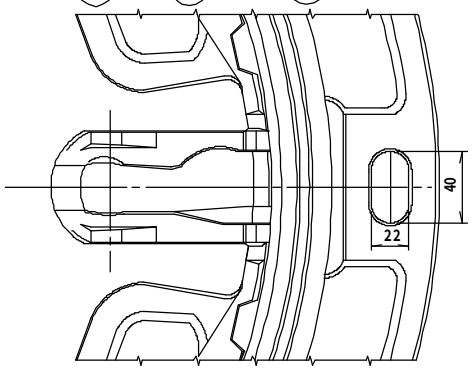
⑤シールロック詳細図

カバー・フレーム断面図

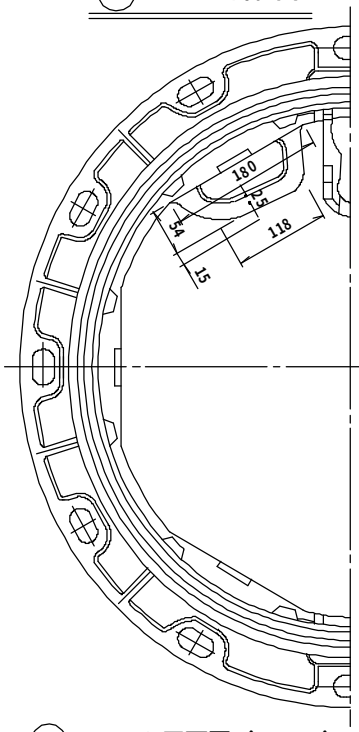




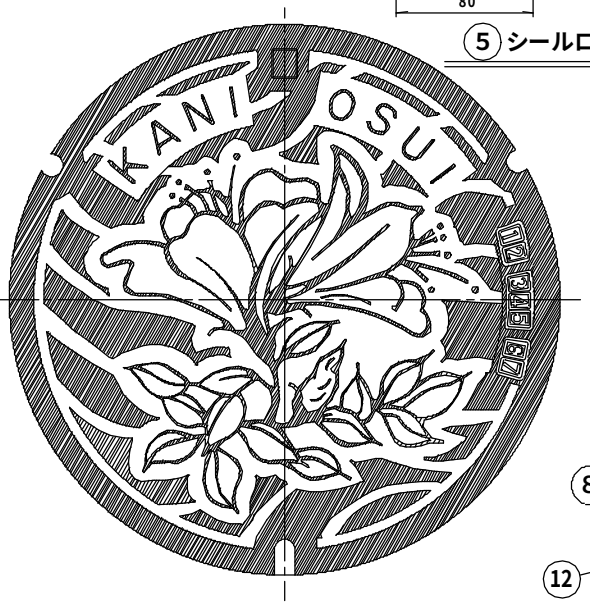
⑥コネクタガイド詳細図



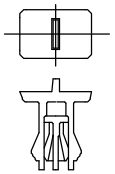
フレーム、コネクタガイド取付詳細図



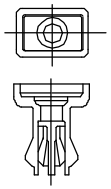
②フレーム平面図（1：6）



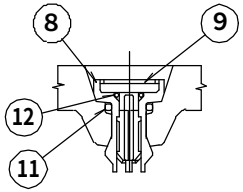
①カバー平面図（1：6）



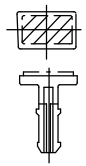
⑩仮キャップ



⑧外枠キャップ詳細図



キャップ取付断面図



⑨キャップ詳細図

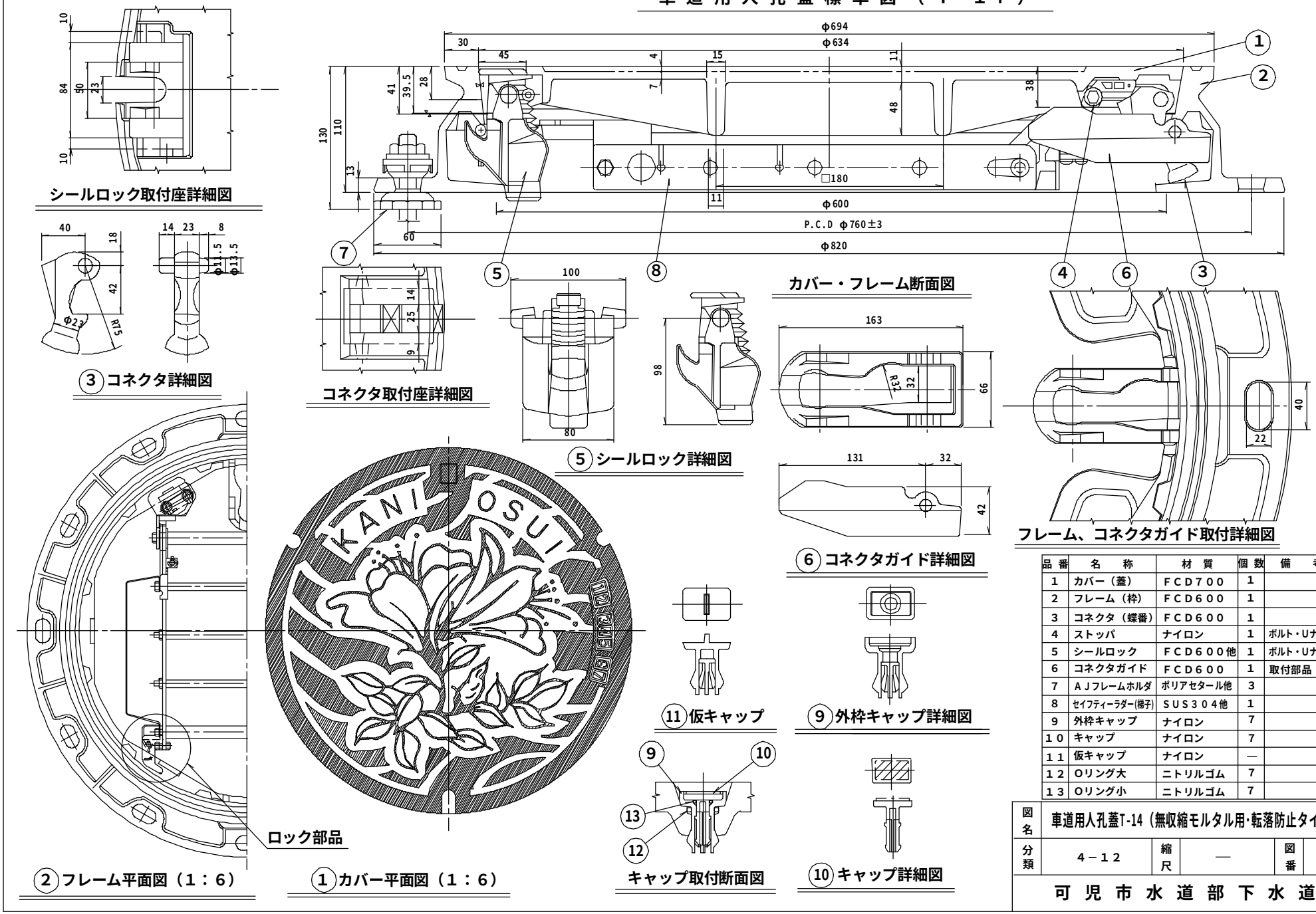
品番	名称	材質	個数	備考
1	カバー（蓋）	ＦＣＤ７００	1	
2	フレーム（枠）	ＦＣＤ６００	1	
3	コネクタ（蝶番）	ＦＣＤ６００	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・Uナット
5	シールロック	ＦＣＤ６００	1	ボルト・Uナット
6	コネクタガイド	ＦＣＤ６００	1	取付部品
7	ＡＪフレームホルダ	ポリアセタール他	3	
8	外枠キャップ	ナイロン	7	
9	キャップ	ナイロン	7	
１０	仮キャップ	ナイロン	—	
１１	Ｏリング大	ニトリルゴム	7	
１２	Ｏリング小	ニトリルゴム	7	

図名	車道用人孔蓋T-14（無収縮モルタル用）参考図				
分類	４－１１	縮尺	—	図番	

可児市水道部下水道課

図番

車道用人孔蓋標準図（T－14）



品番	名称	材質	個数	備考
1	カバー（蓋）	ＦＣＤ７００	1	
2	フレーム（枠）	ＦＣＤ６００	1	
3	コネクタ（蝶番）	ＦＣＤ６００	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・Uナット
5	シールロック	ＦＣＤ６００他	1	ボルト・Uナット
6	コネクタガイド	ＦＣＤ６００	1	取付部品
7	ＡＪフレームホルダ	ポリアセタール他	3	
8	セイフティーラダー(梯子)	ＳＵＳ３０４他	1	
9	外枠キャップ	ナイロン	7	
１０	キャップ	ナイロン	7	
１１	仮キャップ	ナイロン	—	
１２	Ｏリング大	ニトリルゴム	7	
１３	Ｏリング小	ニトリルゴム	7	

図名	車道用人孔蓋T-14（無収縮モルタル用･転落防止タイプ）参考図				
分類	４－１２	縮尺	—	図番	

可児市水道部下水道課